# 校長室だより①いろいろな人とつながる

今年度もあっという間に４月下旬になりました。
少し教室をまわることができましたが、先生の話を真剣なまなざしで聞いている生徒みなさんの姿を見ると、その期待に応えられるように、がんばっていかなければという気持ちになります。

ところで、今年度の学校のテーマをひとことで表すと「つながる」です。入学式や始業式では生徒にも伝えました。
さぁこれからは、「つながる」に向けて、学校として、学年として、さまざまなアプローチを仕掛けていくことになります。

ところで、学校は、生徒のみなさん、教職員や事務職員など、さまざまな人が一緒に生活しています。一人として、「同じ人」はいません。
このことは言葉でわかっていても、本当にわかっているのか、というとなかなかわかりづらいようで、特に一学期は、人間関係でさまざまなトラブルが起こります。自分の思いをうまく伝えられなかったり、相手の思いをうまくくみ取れなかったり・・・。
「学校にはいろいろな人がいる。一人ひとり違っていて当たり前。違う人が集まっているからこそ、つながっていくからこそ、みんなにとって心地よい学校を作っていける可能性がある。」というのを、どんな風に伝えれば、うまく伝わるのか、今でも試行錯誤です。
と思っていたら、面白い話を見つけたので、紹介したいと思います。
みなさんは「幕の内弁当」というものを知っていますか。一説には、江戸時代にお芝居を観覧する際、いくつかの休憩時間＝幕間に食べたことに由来すると言います。その中には、ご飯を始めとして、さまざまなおかずがぎっしり入っています。
中身を少し想像してみましょう。ごはんが入っていますが、あまりに多すぎるとおかずが入らなくなってしまいます。ここはおかずとのバランスが大切ですよね。おかずもいろいろあるでしょうが、まずはソースのかかった揚げ物です。大きすぎると他のものに影響しますし、他のおかずまでソース味になってしまうかもしれません。その横には煮物が入っていますが、これも多すぎると出汁が漏れてしまいそうです。そういえば、ごはんの真ん中には梅干しがあります。すっぱいのが苦手という人もいるかもしれませんが、実はお弁当を腐りにくくするという働きがあったりします。他のものもいろいろ入って、一つのまとまった幕の内弁当ができています。
学校もよく似ていると思うのです。それぞれが個性を発揮して、でも周りのこともよく見て、違いを大切にして、ひとつにつながれば、素晴らしい力を発揮すると思うのですが、どうでしょうか。
場の空気を読み過ぎる必要はありません。でも、隣の人は、どんな思いでここにいるのだろうと、少し考える時間を持ちませんか。
それが、自分とは違う周りを知る第一歩だと思うのです。
そして、いろいろな人とつながる第一歩になります。
今から少し始めてみませんか。